

日 時：平成 30 年 3 月 23 日（金） 11:00～12:00

場 所：安城商工会議所 4 階 情報研修室

出席者…委員長：高橋康友（一般社団法人中小企業支援ナビ）
委 員：成田翔吾（碧海信用金庫）、立見大作・小牧信也（株式会社日本政策金融公庫）、
早水直美・星野雄大・山田浩之（安城市商工課）
事務局：岩井初幸・亀岡直樹・吉田央（安城商工会議所）

以上 10 名

協議事項

(1) 平成 29 年度経営発達支援計画実施報告について

- ・「地域経済動向調査」1 件、「経営分析・需要動向調査」5 件、「事業計画の策定・実施支援」1 件、「創業支援」1 件、「販路開拓支援」1 件、「地域経済活性化に資する取り組み」2 件の目標について、事務局より事業報告と数値結果を報告する。

早水：3/2 に安考会を開催したので数値としては、もう少し多くなる。また安城市の販売促進補助金は入れなくても良い。

星野：先ほどの創業支援ファームでも説明したが、数値の修正をお願いしたい。

「支援者数 212 者／139 者」「創業者数 117 者／97 者」。

立見：専門家派遣「ビジネス問題バスターズ」の予算は余裕があったのか。

吉田：補助対象外の中小企業や補助対象期間外の案件を入れると予算超過となる。

成田：七夕まつりの「ぐるめぐり」への出店料は無料なのか。

吉田：本年度は 1 ブースあたり 6 万円の出店料をいただいている。

立見：安城市中心市街地活性化協議会のプロジェクト会議とは何か。

吉田：安城市が中心市街地活性化基本計画を策定しており、その実行部隊として会議を行っている。ただし本年度で基本計画が終了するため、プロジェクト会議も解散となる。

(2) 万象型小規模事業者支援推進事業実施状況について

- ・日本商工会議所へ提出した伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金に係る補助事業実績報告書に基づき事務局より報告する。

立見：「ビジネス問題バスターズ」は市内事業者のみが対象となるのか。

吉田：市外事業者でも当所会員であれば対応している。

(3) 平成 30 年度計画内容並びに見直しについて

- ・平成 29 年度実績を踏まえ平成 30 年度の目標設定について、事務局より説明する。

吉田：平成 30 年度の目標数値において対策が必要になる項目としては、「経営分析件数（製造業技術力）」「バイヤー来場者数」「展示会商談件数」が本年度は「ものコン。」ではなく「EXPOANJO」となることから目標達成が厳しくなる。

立見：「EXPOANJO」の来場者数と来場者と出展者の話がされた件数をアンケートで対応できるのではないか。

吉田：以上から平成 30 年度の目標数値については変更なく進めていく。

(4) その他

早水：安城市では、平成 30 年度に若手技能者（40 歳未満）を表彰する「未来マイスター認定制度」を実施する。商工会議所には募集の協力をお願いしたい。また「EXPOANJO」での表彰などもやらせてもらえるとありがたい。